公平な町民各位の御判断に訴ふ！

和田製材の職工はなぜ起ったか？

この不景気で工場の経営の楽でない事は認めます。工場主が事業を縮少し、そのために一應の整理をする事も止むを得ないでせう。その工場に働く職工達の立場を充分に考へての上ならば。然るに和田製材の工場主和田一郎氏はたゞ自分のソロバン玉の都合から永年工場のために汗水垂らして働いて来た職工達の首を突然二十円そこ〳〵の金で切ったのです。そこで私達は解雇した職工を復職させるか、さもなければその人が今迄働いた相当年數に應じた解雇手当を出して呉れと要求したのです。このあたりまへの要求に対して和田氏は全部はねつけて了ひました。私達は止むを得ず自分達の生活をまもる立場からストライキに訴へたのです。

和田一郎氏は富豪である！

和田氏は製材事業の外に沢山の地所や家作を持ってゐます。一匹何千円と云ふ犬を連れて猟に行ったり、魚釣などして殆ど毎日遊び暮して居ます。一方この不景気に失業者で一杯な街頭に鼠の涙ほどの涙金で放り出された職工達はこれから先どうして食べて行けるでせう。和田氏の立派な今日の地位も実は職工達が長年一生懸命工場のために働いたそのお蔭ではありませんか。

いづれが正しきか？

和田氏のとった態度が正しいか、争議団のとった態度が正しいか。私達は皆様の公平な御判断に任せます。私達は何も徒らに世間を騒がせようとするものではありません。ストライキは横暴な工場主を反省させ、私達の生活をまもる唯一の手段です。

町民各位の理解と支援の下に和田争議団を勝たせよ！

一九三一・七・八・　日本労働組合総聯合　横浜一般労働組合　和田製材争議團